



令和6年度学校・家庭・地域連携総合推進事業

第2回地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修会

地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるため「第2回地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修会」が11月21日、浅舞地区交流センターで開催され、各小・中学校の学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員、教職員、市町村教育委員会関係者等約100名が参加しました。

「学校と地域のつながりのつくり方・生かし方」に焦点を当て、湯沢市立湯沢東小学校校長寺田玲子氏と湯沢南地区学校協働本部地域学校協働活動推進員小松裕美子氏に、それぞれの立場で取り組んでこられたすばらしい実践をお話いただきました。お二人の実践紹介の後、参加者の皆さんは、役職ごとにグループセッションを行いました。現状や展望について熱く語り合い、今後につながるアイデアを持ち帰りました。

参加者の感想から

- ・地域学校協働活動推進員の役割を全職員で確認し、共通理解を図る必要性を強く感じた。職員室に席を設置していることも参考になった。また、段階的かつ計画的に協議会や熟議に取り組んでいく大切さや課題を明確にする必要性を実感した。
- ・湯沢東小で実施されている熟議に参加されているメンバーの構成がよい。運営協議会委員、学校職員だけでなく、民生児童委員、PTA役員等も参加して行われているので、周知、改善、課題等もよい方向につながるのではないだろうか。
- ・コミュニティ・スクールの基盤となる「つながり」をキーワードに、つくり方、生かし方の視点での紹介はたいへん分かりやすかった。このような発表を聞くことで、その「地域のよさ」も伝わってくる。本校・本地域でも生かせそうな実践に触れることができよかった。
- ・「困りごとを教えてほしい」という推進員さんの言葉に救われた。頼んだり、協力していただいたりして、つながっていきたいと思う。
- ・私自身も今まで様々な方から教えを受けて今に至るので、次に伝えることをモットーに活動している。「恩送り」ぴったりだなと思った。
- ・学校運営協議会そのものが抱える課題として、その役割や活動を地域・家庭にどのような手段で伝えるか、また学校課題をどう共有し解決に向けて協働的に活動するかが挙げられる。これまでの研修会は、特徴ある取組の紹介が多かったが、今回は、すべての学校に参考となるお話をいただくことができた。



「あきた県庁出前講座」をご活用ください！

ご要望に応じた対応をさせていただきます。まずは電話でご相談ください。電話予約と申込書1枚で実施できる無料の本講座をぜひ、ご活用ください。ご予約は原則として1ヶ月前までですが、お気軽にお問い合わせください。

No.160 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールについて

- ・地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進についての取組事例の紹介
- ・地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）等の地域人材の活用について
- ・熟議の進めかた ・国や県の施策の方向性

No.162 家庭教育の充実

- ・子どもの豊かな心を育むための家庭教育のすすめ。
※PTA研修会等の「子育て講座」に、たくさん要請をいただいています。

No.163 インターネットの健全利用について

- ・インターネット利用環境の変化、子どもたちの利用の特徴（低年齢化・長時間利用等）
- ・トラブルの事例と未然防止
- ・家庭や地域が取り組むべきこと
※家庭における多様化する子育ての課題の一つととらえ、保護者や教職員を対象に実施しております。なお「親子一緒に話を聞かせたい」「学校での情報モラル指導に役立てたい」など、できるだけ学校のご要望に応じたいと考えています。

アドバイザーコラム④

『生涯にわたって読書に親しみ、心豊かに』

このほどビブリオバトル秋田県大会が開催され、中学生の部では横手大会を勝ち抜いたバトラーの紹介した『死んだ山田と教室』がチャンプ本を獲得しました。3月に京都の立命館大学で開催される全国大会での活躍が楽しみです。県南大会に目を向けると、校内バトルを体験し、自信に満ちた表情でプレゼンするバトラーもいれば、初体験・初参加で、ストップウォッチを気にしながら緊張に声を震わせる様子も見られました。他のバトラーやフロア参観者からの質問に対してバトラーが受け答えするディスカッションタイムは見応えがあります。同年代の仲間と本の魅力を伝え合う時間が共有できることは意義深いことです。新たな読書家・読書リーダーと出会えた思いです。

今年度、学校図書館活性化支援の一環で高等学校を訪問し、国語の授業の中で実際にビブリオバトルの体験を通してその手法を伝える機会がありました。担当した先生と生徒の関心が大会参加につながったことはたいへんに喜ばしいことです。引き続き、同校での学校体制として継続した参加を期待するとともに、多くの学校にこうした機会を提供できればと思います。ご要望にできるだけ対応しますので、南教育事務所社会教育チームまでご連絡ください。（TEL0182-32-1101）



【ビブリオバトル体験の様子】